

議会 ながいずみ



9月定例会

議員当選から2年！

所属委員会替えで気持ちを新たに … 2

30年度のお金の使い方をチェック … 4

ズバリ！町政を問う

7人が一般質問 …………… 10

あの一般質問のその後は？ …………… 18

わが町たんけんクイズ …………… 20

力作を前に足が止まる

～ながいずみ美術展～



2019.11.1

No.192

年4回発行 (2・5・8・11)

気持ちを新たに

平成29年9月の町議選で当選を果たし、早2年。9月定例会では議会人事の改選が行われました。正副議長の交代のほか、常任委員会の構成メンバーも変わり、心機一転。後半の2年も町政の監視役としての役目を果たしていきます。



議長
柏木 豊

このたび、議長の要職を担うことになり、その職責の重さに身の引き締まる思いであります。

今、町議会は、町民の願いに応える活動が求められております。そこで、議会の情報発信に努め、広く町民の声を拾い上げ、町政に反映できる議会づくりを目指します。また、議員一人ひとりが研鑽を重ね、議論を可能な限り見える化するとともに、女性の議会活動への環境整備に取り組んでまいります。

町民目線、そして行政と異なる視点で活動し、町議会の様子がもっと町民に伝わる工夫、努力をしてまいりますので、今後とも皆さまには、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副議長
下山 和則

このたびの定例議会におきまして、議員各位のご推挙により、副議長に就任いたしました。身に余る光栄とその職責の重さを痛感しております。議長の補佐役として、町政発展に努めるとともに、円滑な議会運営に努めてまいりたいと思っております。

生まれ育った長泉町のために、町民の皆さまの声をお聞かせいただきながら、安全・安心な、住みたい、住んでよかったと実感できるまちづくりに、微力ながら全力を傾注してまいります。

今後とも、皆さまの議会活動へのご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。

広報広聴常任委員会



委員長
下山 哲夫



副委員長
下山 和則



委員
木下 章夫



委員
山田 勝



委員
米山 智



委員
福田 明



委員
長野 晋治



委員
加藤 祐喜

議会だよりの編集や、議会報告会の開催など、議会に関する広報と町民の皆さんの意見を伺う広聴の事業を行います。

9月から新体制

総務民生常任委員会



委員長
大沼 正明



副委員長
加藤 祐喜



委員
四方 義男



委員
木下 章夫



委員
宮口 嘉隆



委員
柏木 豊



委員
下山 哲夫



委員
福田 明

人事や契約、公共交通、防災などの総務部門に該当する分野と、福祉や保険、税、健康増進などの住民福祉部門に該当する分野ほかを審議します。

建設文教常任委員会



委員長
長野 晋治



副委員長
米山 智



委員
山田 勝



委員
井出 春彦



委員
植松 英樹



委員
下山 和則



委員
小永井 康一

都市整備や環境、産業、観光などの都市環境部門に該当する分野と、子育てや教育、生涯学習などの教育部門に該当する分野を審議します。

議会運営委員会

委員長 植松 英樹 副委員長 長野 晋治
委員 井出 春彦 委員 下山 和則
委員 小永井康一 委員 米山 智

議会運営に関する事項や議会の予算、議会の決まりなどを審議します。



令和元年9月定例会

以下、**総務民生常任委員会の審議** と **建設文教常任委員会の審議** を表します。

(金額はすべて1万円未満は切り捨て) 平成30年度決算の詳細は、広報ながいずみ10月1日号をご覧ください。

行財政分野

町の未来を語ろう

質疑 「町長と語ろう! ながいずみ未来トーク」で出た主な意見は。

行政課長 特に多かったのは、公共交通、企業誘致・留置、生活道路・歩道、公園・広場、情報発信などである。

納付忘れに注意

質疑 町税等の督促状発送件数は、前年度に比べ減少しているのか。

税務課長 平成30年度の発送件数は1万4千525件、29年度は1万5千254件であり、前年度に比べ729件減少した。



将来を見据えた意見に期待

コンビニ交付の普及

質疑 住民窓口課の窓口延長業務で来庁者が減っている理由は。

住民窓口課長 個人番号カードの普及に伴い、コンビニ交付を利用した方が増加したものと考えている。

英語に触れあおう

英語指導助手派遣 事業費

2千332万円

質疑 派遣人数が増えているが、その成果は。

教育推進課長 平成30年度からA L Tを各校に1人配置している。正しい発音を聞くことで耳から英語に触れることができ、有意義な授業となっている。授業以外にも学校生活や行事などの中で児童・生徒がA L Tに触れあう機会が増え、異文化への理解も深まっていると考えている。本年の学力学習状況調査の中で、外国への興味に好意的な回答をした児童・生徒は小学校75・8%、中学校65・8%で、いずれも全国平均を上回っている状況で、外国に興味関心を持つ児童・生徒が増えていることが成果となっている。

活動の場の多様化

子ども会育成事業 補助金

214万円

質疑 町内では子どもの数は増えているのに、子ども会の会員数が減っている要因は。

生涯学習課長 子どもたちを取り巻く環境は多様化多忙化している中で、子ども会へ加入しない世帯も増え、子ども会に対する意識も変わってきている。課題が少しでも解消できるように役員と一緒になって考えていきたい。

細心の注意で

除去食対応給食 事業費

1千38万円

質疑 除去食対応給食を配食するにあたり、事故が起こらないための防止方法は。

学校給食センター所長 食材の納品から調理、配食まで通常の給食とは完全分離で実施している。食材が納品される際は、必ずチェックリストに基づき確認し、対象児童・生徒への配食の際も、学校の限られた場所で受け渡しを行い、対象児童・生徒が除去食を受領したか確認する体制を取っている。



教育学習分野

平成30年度のお金の使い方をチェック

令和元年第3回定例会は、9月2日から20日までの19日間の会期で開かれました。平成30年度決算の認定をはじめ、条例の改正、令和元年度予算の補正などの議案を審議し、すべて原案どおり可決しました。

中小企業を元気に

商工振興推進事業費
355万円

質疑 工業団地立地企業動向等調査業務の内容は、産業振興課長 工業団地内の各企業を訪問して、近年の経済動向や各社の課題を確認した結果、多くの企業から雇用不足の状況を確認した。また、工業団地へのアクセスがわかりにくいとの意見をいただいた。

質疑 合同就職面接会で、実際に就職に結びついたのは何人か。
産業振興課長 来場者42人のうち、後日各事業所が実施する再面接に進んだ者が7人、そのうち3人が就職内定した。

評判は上々

産業祭事業費
648万円

質疑 事業費に対して、どれだけの成果が得られているか。

産業振興課長 産業祭の来場者数は、平成28年度が約1万人、29年度が約1万5千人、30年度が約1万8千人となっている。また、産業祭前日に行われる農産物品評会の出品点数、参加団体ともに増加傾向にあるため、産業祭の目的である農・工・商業の交流とPRも達成できていると考えている。

安全な橋に

橋梁長寿命化事業費
1億3千163万円

質疑 事業の進捗状況は。工事管理課長 平成24年度に策定した橋梁長寿命化計画の中で、25年度から6年間で補修を完了する橋梁として位置付けた19橋に対し、30年度までに補修を終えた橋梁は17橋で、おおむね計画どおりに進んでいる。一方、27年度から31年度で、町単独管理の橋梁137橋の詳細点検を実施し、計画の修正を行った。



さかえ橋を現地調査で確認

駅周辺はどう変わる

都市計画管理事務費
1千544万円

質疑 下土狩駅周辺都市再生整備計画等検討事業の内容は。

建設計画課長 鮎壺公園の概略設計に併せて、公園を活用した民間活力活用の可能性調査として、民間事業者へサウンディング型市場調査や鮎壺公園を含む下土狩駅周辺の活性化に向けた基盤整備を行うため、下土狩駅の利用者数、駅周辺の踏切調査、住民アンケート調査及びワークショップを行った。

新たな交通手段

公共交通対策事業費
331万円

質疑 デマンド乗り合いタクシーの効果は。

企画財政課長 昨年10月から実証運行を開始し、スタート当初は利用が伸びたが、以降冬季に入り利用者が減少、その傾向が年度末まで続いた。なお、運行の目標として、乗合率1・1、収支率20%を目安にしており、結果として数値はともにクリアしているため、順調な運行であると認識している。

産業経済分野

都市整備分野

※サウンディング型市場調査…事業の早期段階で、対話を通じて民間事業者から広くアイデアを求め、事業の可能性を探る調査

使いやすい施設に

福祉会館施設整備費
5千464万円

質疑 第5駐車場を整備したことで施設全体の駐車台数は。
福祉保険課長 第5駐車場で17台確保でき、計71台である。



整備された第5駐車場

検査の重要性を周知

ピロリ菌検査事業費
237万円
ほか

質疑 平成30年度新規検査事業に関する結果をどのように捉えているか。

健康増進課長 ピロリ菌検査事業は、受診者が少なかったことが課題と捉えており、事後アンケートの結果を踏まえた対応をはかる。産後ケア事業は広報をより強化していく。

放課後の居場所確保は

質疑 放課後児童会の待機児童の状況は。
子ども未来課長 前年度末現在で0人である。

高齢者の安心のため

ひとり暮らし高齢者見守り事業費
94万円

質疑 安否確認実績が76件とあるが、安否確認の方法は。

長寿介護課長 異変が発見された場合は事業者が町に連絡し、マニュアルに基づき町が安否確認を行う。



気軽に相談へ

包括的支援事業費
3千935万円

質疑 地域包括支援センターを増設した効果は。

長寿介護課長 各圏域の高齢者数が3千人を超える中、顔の見える個々の相談業務ができていと認識している。相談件数の増加を見ても明らかであるように、圏域ごとの地域の要望やニーズなどを聞き取り、支援もできている。また、2カ月に1回、3カ所の地域包括センター連絡会を開催し情報共有している。

原案に対する討論
(国保特別会計決算)

反対討論(福田明議員)

国保加入者の所得は低いのに、保険料は他の医療保険と比べ高い。30年度末の積み立て基金3億3千万円のうち、7千万円で加入者1人あたり1万円の引き下げが可能である。国と県に公的責任と財政支援を求め、町民の暮らしを守るために、国保税を引き下げるべき。

賛成討論(加藤祐喜議員)

30年度決算は県と町が共同で保険者となる大改革後、最初の年度の決算であり、実質単年度収支は黒字となっている。職員による収納率向上や医療費抑制のための保健事業への取り組みが、決算結果からも読み取れる。今後も保険者として、より一層の経営努力を重ねることを希望する。

原案に対する討論
(介護特別会計決算)

反対討論(福田明議員)

総合事業は自治体によって格差があり、すべての利用者に同じサービスが保証されるのか不安を残しているのが実態である。必要なサービスが必要時に利用できる制度へ転換し、一般財源の繰り入れを積極的に行うことで保険料の値下げを行うべきである。

賛成討論(加藤祐喜議員)

町の介護認定率は県内でも決して低いものではなく、地域包括支援センターの増設など、在宅生活の支援に向けた積極的な予算執行がなされている。保険料も必要な介護給付サービスの総額を基に追加的需要分を反映して算定しており、県内市町の動向を踏まえても適正な保険料であるといえる。



夜道を照らすLED

暗い夜道を明るく

ルミナスストリート
整備事業費
4千370万円

質疑 平成30年度末での防犯灯LED化の進捗率は。

地域防災課長 防犯灯総数4千869灯のうち、LED防犯灯は4千357灯で、LED化率89.5%である。

適切な分別のおかげ

PFI最終処分場
運営事業費
572万円

質疑 一般廃棄物最終処分場事業方式可能性調査を実施したことに伴う、今後の方向性は。

くらし環境課長 第1期として平成18年度から令和2年度までの15年間、施設の維持管理を行ってきたが、町民・地域・企業など町全体が一体となつてごみの減量化が実現し、埋め立て量が当初の計画量の約50%を推移していることから、結果として第2期のかさ上げ工事を実施する必要がなくなつた。令和3年度以降も引き続き、現在の事業者が事業を継続して施設の維持管理を行っていくことが、最も効果的であるという結果が得られた。

ポイ捨てはいけません

不法投棄対策費
87万円

質疑 具体的な対策は。

くらし環境課長 塵芥焼却場や埋め立て場などの施設に赴く際に、不法投棄パトロールを併せて実施している。また、建設計画課、工事管理課が月に4回実施する道路パトロールの際にも、併せて不法投棄パトロールを実施しており、不法投棄ごみの回収や啓発用看板の設置を行うなどの対策を講じている。

原案に対する討論
(一般会計決算)

反対討論(福田明議員)

財政調整積立金が昨年度の倍となり、積立額が3億円となった。また、財政調整基金残高は46億円となった。これだけの基金を有効活用すべきではないか。

・町職員数が足りていない。臨時職員を増やすのではなく、正規職員を増やす計画を早急に実施すべき。

・ながいずみ観光交流協会が自主的活動ができるよう、補助金の増額を。

・中小企業支援、商店街活性化のための施策が必要。

賛成討論(下山和則議員)

一般会計決算を見ると、実質収支は黒字となつており、財源を翌年に繰り越すことができたことは、健全な財政運営に努められた結果であると判断する。未来トクなどで提案のあった、広場・公園整備事業の着手や北小学校放課後児童会の整備のほか、防災拠点としての防災センターが整備されたことは何よりも心強く感じている。財政調整基金の積立金額はさまざまに見方や考え方があつた中で、今後の情勢を見据えると、町の金額は決して多すぎるものではない。今後も住民福祉の向上のために、計画的な予算執行による健全な財政運営をお願いする。

教えて！議会用語

とうろん
「討論」



本会議や委員会でも議題となつている案件に対し、表決をする前に、議員個人として賛成・反対の意見を示すことをいいます。議員個人が考える議案の問題点を指摘し、他の議員の賛同を得るために行われます。公平を期するため、議案に反対の議員から討論を行い、次に賛成の議員と、交互に行うことになっています。

令和元年度補正予算

教育学習分野

町道路線認定

町独自で支援します

民間保育所運営等

補助金
310万円

質疑 副食費（おかず）多子軽減助成の町の考え方は。

こども未来課長 2号及び3号認定の保育料について、国は小学校就学前の最年長の子から数えて2人目を半額、3人目以降無償としているが、これまで町は世帯の出生順位における最年長の子から数えて、第2子半額、第3子以降無償としており、今後も継続していく。また、幼児教育・保育の無償化により、副食費（おかず）が実費負担となることから、保護者の負担増を軽減するため、保育料と同様の軽減を町独自で支援していく。

内容の充実へ

福祉会館施設整備費

3千870万円

質疑 浴室改修工事の実施時期と内容は。

福祉保険課長 10月20日開催の福祉健康まつり終了後から令和2年3月までの間で行う予定である。内容は、奥側の浴室の洗い場を1カ所増設し、レストコーナーをミストサウナ室へ改修する。また、床、浴槽タイル及び壁タイルの改修、照明のLED化、ろ過設備の更新と気泡泉を一部開放風呂とする改修を行う。

会計	補正予算額
一般会計	6998万円
国民健康保険事業	△317万円
介護保険事業	77万円

長泉町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

条例の内容

町で任用している一般職の非常勤臨時職員が、関連法の改正に伴い創設された会計年度任用職員制度に移行することに伴い、給与など必要な事項を定めるもの。

質疑 何が変わるのか。

行政課長 これまで支給されていなかった地域手当や期末手当などの各種手当の支給のほか、休暇制度の拡充、フルタイム会計年度任用職員に対する退職手当の支給、2年目以降の共済組合の加入などがある。

長泉町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

改正の内容

①幼児教育・保育の無償化に伴い、特定教育・保育施設が教育・保育給付認定保護者から受けることができ、食事などの提供に要する費用の範囲が変更
②特定地域型保育事業者による代替保育の提供に係る連携施設の確保義務の緩和（一定の条件を満たした場合）

質疑 副食費の範囲の変更内容は。

こども未来課長 年収360万円未満相当世帯及び全所得階層の第3子以降の子どもに対する副食費が免除となった。

質疑 副食費が自費負担になったことで、従前より負担が増える保護者が出てくると想定されるが、**こども未来課長** 保育所の副食費は町独自の助成制度を講じるため、保護者の負担増は生じない。



・町道849号線
(下長窪字茶木畑)



・町道848号線
(上十狩字三島辻)

議第123号
桃沢野外活動センター他大規模改修工事請負契約の締結

動議（宮口嘉隆議員）

平成31年第1回定例会において総務民生常任委員会より出された付帯決議に対する議会への対応の場が必要と考える。日程の順序を変更し、議会最終日に採決を行うことを求める。

賛成者ありで動議成立
賛成少数で最終日の議題とするのは否決

総務民生常任委員会が出した付帯決議は、議会ながいずみ190号に掲載しています。



原案に対する討論

反対討論（木下章夫議員）

当局による議会への説明責任が果たされていないため、本議案を審議するには問題がある。当局の議会軽視、説明責任の不履行を指摘する。

賛成討論（植松英樹議員）

この案件は、これまでの常任委員会、本会議の中で採決され議会としても一定の理解を示してきたものである。今回挙がった質疑、答弁を踏まえ、各議員がしかるべき判断をしてほしい。

教えて！議会用語
どう
「動議」



議会の進行や手続きに関して議員が議会に対して行う提議で、議決が必要なものをいいます。今回の動議とは異なり、議案の修正案を提出する動議などいろいろありますが、会議規則で定められた人数以上の賛成者がいないと動議は成立しません。

その他議案

9月定例会審議議案と採決結果

議員	審議結果	柏木 豊	井出 春彦	山田 勝	四方 義男	大沼 正明	木下 章夫	下山 哲夫	植松 英樹	宮口 嘉隆	小永井 康一	福田 明	米山 智	加藤 祐喜	長野 晋治	下山 和則
議案	審議結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
桃沢野外活動センター他大規模改修工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度長泉町一般会計歳入歳出決算の認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度長泉町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度長泉町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度長泉町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛否が分かれた議案のみ掲載しています。○は賛成、×は反対、議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ採決に参加します。



きのした あきお 議員



むらた まさし 氏

監査委員



たかはし なおみ 氏

教育委員

人事

ズバリ!

町政を問う

7人が一般質問

1 小永井 康一 議員

- 1 IT行政の推進は
- 2 ゴミ問題と地球温暖化対策と新焼却場の考えは
- 3 池田町長の町民の声を聞く姿勢とは
- 4 町長の責任ある対応は

2 下山 哲夫 議員

- 1 地域を保全し未来へつなげるには
- 2 教育各所の暑さ対策は

3 福田 明 議員

- 1 安心して暮らせる町のために

4 大沼 正明 議員

- 1 行政サービスの、さらなる推進を

5 加藤 祐喜 議員

- 1 魅力的な町、長泉町であるために

6 四方 義男 議員

- 1 各種調査結果や世の中の動きを基に

7 木下 章夫 議員

- 1 町長の所信と行政姿勢を問う
- 2 裾野との共同火葬場建設費長泉負担分への影響は

一般質問とは…議員が町政全般の執行状況や方針、課題などを、執行機関に直接質問すること。

CHECK



町長の町民の声を聴く
姿勢に期待。

小永井

議員 康一



AI化の推進を

Q

新火葬場の利用者数が少ない場合責任をどう取るか

A 施設利用者の多少だけで判断すべきではない

町長が聞いた住民の声

野市と共同による整備の早期完成を望む意見が最も多かった。

問 新裾野広域斎場を使う町民の割合の想定は。 平成23年度から29年度の現火葬場の実績をベースに町民の利用率を算出し、88%を想定している。

都市環境部長 その施設の利用者数のみをもって判断し、施設整備を行った首長の責任の有無を論ずるものではない。多くの住民に利用してもらえ

問 町長当選から2年間で、火葬場に関するどんな意見を聞いたか。

問 住民の声を聞いたという割には、火葬場に関する住民訴訟が起きたが。

副町長 訴訟は裁判所が最終判断するもので、町が感想や見解を述べるべきではない。

問 町民の利用率が低かった場合、町長はどのように責任を取るつもりか。

副町長 訴訟は裁判所が最終判断するもので、町が感想や見解を述べるべきではない。

問 町民の利用率が低かった場合、町長はどのように責任を取るつもりか。

問 町民の利用率が低かった場合、町長はどのように責任を取るつもりか。

組むことが、行政が果たす責務である。

Q

IT行政の未来は

A AI化による利便性の向上と効率化がはかられる

キャッシュレス決済

る意味では必要な取り組みと考えている。

入されている。今後、運用上の課題とともに研究していく。

治体において実証導入され、一定の成果が出ていると聞く。RPAの導入により、業務の効率化を期待できると考える。

問 クレジットカード引き落としを導入すれば、税金未納付の有効な対策になるのではないか。

問 行政窓口などの手数料の支払いに、キャッシュレス決済導入は。

行政の自動化

期待できると考える。

問 クレジットカード引き落としを導入すれば、税金未納付の有効な対策になるのではないか。

問 行政窓口などの手数料の支払いに、キャッシュレス決済導入は。

問 AI・ロボット化の時代の行政運営は。

問 AI・ロボット化の時代の行政運営は。

課長 既に一定の成果が示されているものにRPAがある。既に全国の自

課長 既に一定の成果が示されているものにRPAがある。既に全国の自

あり、納税環境を整備す

一部自治体で既に実証導

あり、納税環境を整備す

あり、納税環境を整備す

※ RPA…定型的なパソコン業務をソフトウェア型のロボットが代行・自動化する概念。Robotic Process Automationの略。

※ IT…コンピューターやデータ通信に関する技術の総称。Information Technologyの略。



見通しがよい改善を

時代の流れに合わせ、
変化を。



山下

てつお
議員



Q

地域農業を保全し未来へつなげるには

A 担い手を育成し環境整備に努める

課長 費用対効果を考慮し中・長期の見通しの中で、今後も農業経営を継続していく地域で水路整備・改修を計画していく。各課で安全対策の協議を進め、実施に向けた計画策定をしていく。

問 農業の担い手確保と方策は。

産業振興課長 農林水産省が進める「一人・農地プランの実質化事業」で、誰に農地を集積・集約していくかといった地域農業のあるべき将来像の見

問 農地の保全是水の確保が重要。貯水柵の設置やポンプアップのための電源確保、ソーラーパネルなどの設置の考えは。また、計画的な用水路の改修が必要では。

課長 費用対効果を考慮し中・長期の見通しの中で、今後も農業経営を継続していく地域で水路整備・改修を計画していく。

問 町道上長窪元長窪線の危険箇所の今後の計画は。

その他の質問

工事管理課長 既存の施設に加え、計画されている。地消地産の発信

Q

教育各所の暑さ対策は

A 暑さ指数に基づき活動の可否を決めている

熱中症の防止・対策

問 屋外での活動は気温が何度以上で中止になるのか。具体的な指数は。

課長 屋外での活動では、適宜休憩と水分補給の時間を確保したり、定期的にグラウンドに放水して熱を抑えるなど、学校では児童の健康管理に常に

気を配っている。背面に垂れつついている帽子も効果的だと考えるが、熱中症対策は今後も校長会で協議したい。

教育推進課長 熱中症予防の運動指針は、気温35度以上、暑さ指数31度以上で、各小・中学校はこの数値を目安にしている。

問 体育館の簡易的冷暖房設備以外に、将来簡易的でない冷暖房設備の設置や建て替えの予定は。

教育部長 熱中症対策として体育館のエアコン設置は必要な設備だと考え、本年度、小・中学校体育館には試験的に移動式大型涼風機や移動式エアコンを配置した。これからの校舎・体育館の建て替えの時は、エアコン設備の設置は必要であると考

問 暑さ指数に基

き活動の可否を決めている

教育部長 熱中症対策と

※暑さ指数…人体の熱収支に与える影響の大きい、①湿度、②輻射熱、③気温を取り入れた指標。



将来の有権者である子どもたちへの主権者教育は重要な項目である。

ふくだ
明
議員



中学3年生の出前授業

Q

小・中学校での主権者教育の取り組みは

A

模擬選挙や出前授業で学ぶ機会を設けている

主権者教育

問 小・中学校での教育委員会、選挙管理委員会の取り組みは。

教育推進課長 政治や選挙は、小学校6年生の社会科「わが国の政治の動き」や、中学3年生の公民「私たちの政治」で学んでいる。投票率の低さや1票の格差などの問題を考えたり、模擬選挙などを通して投票の大切さを実感する授業を行っている。

行政課長 選挙管理委員会では、中学3年生を対象に出前授業を行い、選挙制度に関するクイズや模擬投票などを行っている。

問 若者の投票率向上を見据えた活動は。

行政課長 町の10代の投票率は、県議会議員選挙では29・74%、参議院議員通常選挙では35・11%、20代では、それぞれ21・04%、34・98%であり、町全体の投票率と比較しても下回っている状況にある。若者への啓発活動として、選挙を身近に感じてもらえる選挙事務体験などで投票率が上昇するように努めていく。

空き家対策

問 町内の空き家の現状は。

建設計画課長 平成25年の住宅・土地統計調査によると、住宅総数1万7千320戸のうち、空き家総数3千610戸で、空き家率20・8%と高い数字である。内訳は、賃貸住宅2千820

戸、売却用住宅230戸、別荘などが40戸、その他520戸で、賃貸住宅が空き家総数の78・1%を占めている。

問 空き家の活用などの対策は。

課長 空き家の戸数は全国的に増加傾向にある。町では空き家対策に取り組むことを目的に、空家等対策計画を盛り込んだ長泉町住宅マスタープランの策定作業を進めている。

浜岡原子力発電所の事故の対応

問 浜岡原発再稼働に対する町の見解は。

総務部長 事故発生時に放射性物質の影響を受ける31キロメートル圏内の各市町の判断や、区域内に住まわれる方の意見を

優先し、原子力政策は国が責任をもって慎重に判断すべきであると考えている。

問 安定ヨウ素剤の備蓄、事前配布、購入の考えは。

地域防災課長 安定ヨウ素剤は、原子力災害時に放射性ヨウ素による甲状腺の内部被ばくの予防または低減することを目的に承認されている。町は浜岡原子力発電所から約90キロメートル離れており、緊急事態が発生した場合に、屋内退避、避難一時移転を行う区域から外れている。このため、事故が起こった場合でも直ちに放射性物質の影響を受けるとはないと考えており、現時点では安定ヨウ素剤の備蓄や購入事前配布は検討していない。

※主権者教育…社会の出来事を自ら考えて判断し、主体的に行動する主権者を育てることを目的とした教育。



受動喫煙の防止や
喫煙マナーのために



東京都千代田区広報広聴課提供

先進地の喫煙トレーラー



おおゆま
まさひろ
議員
正明

Q

受動喫煙対策として禁煙外来に助成を

A

町民の健康を後押しするため検討する

高齢者支援の充実を

問 高齢者、バス・タクシー助成券の対象者数と申請者数は。

長寿介護課長 平成30年度の対象者数は4千777人、申請者数は2千667人、申請率は55.9%になる。

問 窓口での本人申請数と代理人による申請数は。

課長 本人申請は2千68人、親族やケアマネージャーなどの代理申請は600人になる。

問 高齢者バス・タクシー助成券は、対象者全員に郵送を。

課長 本人による窓口申請が約8割である。顔の見えるケアマネジメントの機会であり、高齢者の

困りごとや問題を地域包括支援センターへつなげる機会と捉えているため、郵送は考えていない。高齢者支援体制整備事業として、地域に出向き「地域助け合い検討会」を開催している。その中で、地域ボランティアによる移動支援の仕組みづくりを検討中である。今後必要に応じ高齢者支援の拡充や見直しをはかる。

情報発信力の強化を

問 緊急の交通規制情報や火災情報を随時発信する考えは。

地域防災課長 緊急情報を町から随時発信するには、情報をタイムリーに得ることや、夜間や休日などの対応の検討が必要になる。そのため、直ちに実施することは困難であるが、近隣の状況や先進事例を確認し、情報発信の充実強化を研究していく。

受動喫煙対策を

問 公衆喫煙所の設置を。企画財政課長 設置場所が確保できないため、現状考えていない。

問 家庭での対策に、禁煙外来の助成の考えは。

町長 たばこ税の使い方として前向きに検討する。

その他の質問

問 現在の自治会加入率は。

行政課長 本年4月1日現在で88.44%であり、昨年比で1.24%上昇している。

総合案内の有効利用を

問 昼休みに来庁する住民のため、総合案内が不在にならないよう配慮を。

行政課長 総合案内業務は、人材派遣で対応している。昼休みを含めた時間帯に対応するには、最低2人の体制が必要になる。今後、一番効果的な体制を検討する。



全世代の人が住みやすい魅力的な町であるようにまちづくりを。



かとう
加藤 祐喜
議員



防災アプリの活用を

Q

魅力的な町であるためには

A

各種研究、情報発信に努める

災害への備えを

問 昨年11月に開館した防災センターを、総合防災訓練ではどのように活用したか。

地域防災課長 常設の災害対策本部を整備したことで、本部参集職員到着後、直ちに本部を立ち上げる事ができた。災害対応では、現場映像をリアルタイムで確認したほか、情報を共有するため、各班長が機のマイクを使用し、逐次報告しながら災害対応を行った。物資を避難所へ搬送する訓練では、本部と同じ建物内に防災倉庫を整備したことで素早い搬送ができた。

問 防災センターを使って体験型の訓練を実施するなど、幅広い使い方を

総務部長 常設で各種体験コーナーなどを設置することは考えていないが、防災イベントなどを開催する際は、防災講話のほか防災グッズの展示や模擬体験などの実施も検討し、防災活動の拠点として有効活用をはかっている。

問 ライフライン業者などが提供する生活に密着した情報源の住民への周知は。

地域防災課長 東京電力パワーグリッド主催の会議では、停電の際に復旧見込みなどの情報が確認できるアプリ「TEPCO速報」の紹介があり、県主催の会議では、避難場所や気象情報などが確認できるアプリ「静岡県防災」が紹介された。貴重な情報源となるため、町

広報紙やわくわく祭りで周知した。今後も町主催イベントなどで広く周知していく。

問 公共施設における災害時の電力源として再生可能エネルギーを利用する体制と、今後の考えは。

企画財政課長 太陽光発電システムを、役場庁舎北館、西館、防災センター、3小学校、勤労者体育センター、ウエルピアなどがすでに設置している。いずれも平時は発電した電力と商用電源を併用している。有事の際は、特定の電気系統において蓄電池からの電力供給が可能となっている。今後は、長泉町環境基本計画などに基つき、再生可能エネルギーの積極的な導入をはかりたい。

子育て環境の充実を

問 育児退園をさせない仕組みづくりを。

教育部長 保育の受け入れ枠を増やして待機児童問題を解消することが、育児退園問題の解消につながるかと考えている。幼児教育・保育の無償化による保育ニーズ増大などの影響を注視し、公立幼稚園の認定こども園への移行など受け入れ施設の拡大に努め、育児退園廃止に向けた取り組みを進める。

※育児退園…母親が新たに子どもを出産し育児休暇を取得した場合、保育園などに預けている上の子どもを退園させる制度。長泉町では、3歳未満児は原則として産後8週目の属する日の月末で退園となる。



子どもたちが安心な通学路

「子育てするなら長泉」
他の自治体より早く
研究・検討を。



よも
四方
よしお
義男
議員



Q

保育施設周辺にキッズゾーン新設は

A

国・県の動向を注視し必要性を研究する

キッズゾーンの開設

高齢者の食育

権限移譲受け入れ

問 子育ての町として子育て環境の安全をより高めるべく、保育施設周辺にキッズゾーンの開設は、**こども未来課長** 園外保育などで園児が、日常的に集団で移動する経路における危険箇所の抽出調査を実施した。公立・私立の15園で調査を行い、12園、37カ所が抽出されている。道路管理者や裾野警察署と点検確認し、改善改修に努める。今後、国や県などの動向を注視しながら、必要性などを研究していく。

問 健康長寿に向けて、高齢者への食育啓発を積極的に実施すべきでは。**住民福祉部長** 高齢になると、食事量や食の偏りなど食事面からの指摘もあるが、歯の喪失や嚥下障害など口腔機能低下の懸念もある。本年度、第3次長泉町健康増進計画の見直しのため、アンケート調査を予定している。その結果を踏まえ、食育推進会議を中心に、今後の取り組みを考えていく。また、3小学校区に設置した地域包括支援センターとも連携し、食育に関するさらなる推進に努めたい。

問 権限移譲受け入れは、町の立ち位置を熟考しての意思表示をすべきでは。**企画財政課長** 権限移譲に関する手続きは、原則として事務を受託する市町の承諾が前提となる。権限移譲の可否には住民サービスにおけるメリツトの有無を基準に考えている。専門性の高い事務や広域的な対応を要する事務などで、承諾ができないこともある。今後、住民サービスの向上につながる事務は、現状の職員体制で可能な限り受託していきたい。

その他の質問
・A「解析による「魅力度」だけでなく、「持続可能性がある」という評価も上位を目指すために。
・関係人口拡大と、「ふじのくにシヨール」の関わり。

CHECK



反対する方たちと本当に
相対する姿勢こそが
大切。

きのした
木下

あきお
章夫
議員



スタートする火葬場整備工事

Q

火葬場建築工事が2回も入札不調は問題ないか

A

分離発注方式によりいずれも予算の範囲内で落札

入札の結果は

純に事業費の金額だけを
もって比較することは現
実的ではない。

た。結果、再々度公告に
より入札を執行し、予
算の範囲内で落札され、

事業者が決定しており、
仮契約を締結している。

問 町内に建設する場合

の建設費が、平成25年当
時の資料では3億4千万
円だったが、町外に建設
する場合は29年末時点で
約10億円となっていた。

町民への説明は。

問 1回目の工事入札の
価格差は1億円近いと聞
いたが、議員にも知らさ
れていない。実際どうだ
ったのか。

仮契約を締結した。電
気設備工事は、建築工
事が二度不調となった
のちに再度入札を執行
し、入札価格が予定価格
を7千222万円下回り

問 入札が順調でなかっ
た状況で、本年度以降さ
らに町の負担金が増額さ
れることはないか。
課長 いずれも予算の範
囲内で落札されたことか
ら、予算に影響はない。

くらし環境課長 火葬場
計画の経緯を顧みず、単

課長 建築工事は入札価
格が予定価格を3千59
0万円上回り不調となっ

既にプロポーザルにより

Q

反対している町民の真意を理解しているか

A

議会に諮り事業を進めてきた

提言の判断は

重したのか。
くらし環境課長 住民代
表からなる火葬場計画検
討委員会案と議会特別委
員会案の双方の意見を十
分に尊重し、前町長が総
合的に判断し、方針を示
した。

問 裾野市との建設に反
対し住民訴訟を起こして
いる元区長に対し、事業
計画の疑問に答えようと
しない。そんな町の姿勢
を危惧している。町長の
見解は。

は、町政のリーダーとし
て裾野市共同整備案、現
地建て替え案の2つの意
見を慎重に判断し方針を
示した上で、その方針を
議会で諮り承認をいただ
き、事業を進めている。

問 平成25年の議会火葬
場整備促進特別委員会
は、現在地での建設を優
先し、次に町内別地での
提言決定をした。町はそ
の提言を尊重したと答弁
したが、具体的に何を尊

重したのか。
くらし環境課長 住民代
表からなる火葬場計画検
討委員会案と議会特別委
員会案の双方の意見を十
分に尊重し、前町長が総
合的に判断し、方針を示
した。

問 裾野市との建設に反
対し住民訴訟を起こして
いる元区長に対し、事業
計画の疑問に答えようと
しない。そんな町の姿勢
を危惧している。町長の
見解は。

は、町政のリーダーとし
て裾野市共同整備案、現
地建て替え案の2つの意
見を慎重に判断し方針を
示した上で、その方針を
議会で諮り承認をいただ
き、事業を進めている。



追跡

あの質問はどうなった？

定例会で議員が出した一般質問は、まちづくりにどう活かされているのでしょうか。その後を追います。

若者がチャレンジできる地域づくりを。



答弁

下土狩駅周辺や長泉なめり駅周辺を都市機能誘導区域に位置付け、商業機能の誘致を目指し、この区域内での「チャレンジショップ」の展開など、可能性を考えていく。

そして

下土狩駅前の空き店舗を活用した起業体験事業（チャレンジショップ）を実施。下土狩駅前のにぎわい創出や新規事業者の起業支援につなげる。



2区画整備したチャレンジショップ

デマンド乗り合いタクシーの実証運行は、桃沢地区だけでなく町内全域で。



答弁

竹原区・本宿区をモデル地区としてアンケートを実施。地域の実態を調査したうえで、具体的な交通形態を検討したい。

そして

竹原区・シャルマン竹原区・本宿区に居住する75歳以上の方及び65歳～74歳の方（車所有による制限あり）を対象とした実証運行を10月1日から開始した。



新しいデマンド乗り合いタクシー「いきいき号」

期待しています

私の要望・意見

8月1日号の「わが町たんけんクイズ」に応募していただいた中から、ご意見を抜粋して紹介します。

町の未来を考える

子育てだけでなく、これから人口が頭打ちになったときに、長泉がどのようなアイデンティティを示していくか、将来ビジョンも議論してください。

(30代男性)

今秋の消費増税による家計への影響は、避けては通れません。増税以上に住みやすい、生活しやすい町、楽しみにしています。期待しています。

(50代男性)



高齢世代に対して

高齢ドライバーによる事故が多発しています。免許返納しても、バス・電車で移動、生活できる公共交通網の充実を目指してください。あらゆるバス路線から食料品を買いに行けるよう、町からもバス会社への要請をお願いします。そして高齢になっても、免許返納しても過ごしやすいまちづくりを期待しています。

(40代女性)

議会ながいずみ、いつも拝見しております。長泉町は子育ての町ということでも知られるようになってきましたが、高齢者への施策が少し乏しいように感じます。高齢の町民への対応にも、力を入れていただければありがたいです。

(60代男性)

その他ご意見

幼い子が英語に触れあえるようなイベントを催してほしいです。

(30代男性)

子育て関係や、道路整備に関する記事が気になります。

(30代女性)

本年度発売される、プレミアム商品券の購入者の条件の枠が、あまりにも厳しく感じました。また、隣接する市町の店でも使用できると、もっと楽しめると思いました。

(60代女性)

下土狩駅付近の踏切の、朝の通行状況がひどく、一時期交通量調査をしていたようだが、一向に改善されていない。どのような対応が取られようとしているのか教えてください。

(40代男性)

議会を傍聴しませんか？



そもそも議会では何が行われているの？

11月定例会は
11月25日(月)に
開会予定です
(本会議は10時開会です)

議会では、町が行う(行った)事業の内容は適正であるか、費用に見合った効果が見込まれるかなどのチェックが行われています。

町と議会は相互にけん制・抑制と均衡によって緊張関係を保ちながら、対等な立場でそれぞれの役割を果たしています。

目の前で見える議会は緊張感を肌で感じることはできません！ぜひ議場で議会をご覧になってみてくださいね。



議員が聴く!

まちかどインタビュー

～ながいずみ美術展で聞きました!～



主催者の声

今年で第32回を迎える美術展には125点の作品が出品されましたが、年々出品数は減ってきており、残念に思っています。特に若い世代の方の出品が少なく、町主催のイベントでのPRなど、身近なところで芸術に触れることができる機会が設けられたらと思います。

今回の美術展では、制作コーナーで実行委員による説明会を実施し、自分の興味のある部門の制作体験への参加を呼びかけました。皆さんのチャレンジを心よりお待ちしております。

(長泉町美術展実行委員会 委員長 うええだまさき 上枝正樹さん)

来場者の声

Q. 長泉町に住んでいて感じることは。

A. 穏やかで環境のよい町

Q. 長泉町の良い点、不自由な点はありますか。

A. 町外へ行くときの交通の便はよい。

町内で移動するとき、交通手段がないと不自由

Q. これからの長泉町に期待することは。

A. 町の施設は整ってきているが、車がないと行けない。

町内のバスがあるとよい。



(西区 つちやようこ 土屋洋子さん)

「健○公園」

ヒント…敷地内にウエルピア
ながいずみがあります。



わが町 たんけんクイズ

Vol.130

ここはどこ? でしょう!

応募方法

町内にある施設などを問題します。○の中に入る言葉をお答えください。正解者の中から抽選で10の方に図書カードを贈呈します。

●はがき、FAX、応募フォームのいずれから、クイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、議会ながいずみの感想を書いてお送りください(お寄せいただいたご意見は紙面で紹介させていただきます。ただく場合があります)。

※メ切は11月29日(金)消印有効です。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

●宛先

〒411-8668

長泉町中土狩828番地

長泉町議会

広報広聴常任委員会

応募フォームはこちら

前回の正解は

「上土狩」区でした。

(応募総数17通 正解数12通)



編集後記

新メンバーで今後2年間、計8回の「議会ながいずみ」を発行します。本格的な人口減少の時代に突入した日本、さまざまな世界の変革の中で町の良識を求めて前進していきたいと思えます。

9月議会よりタブレット端末を導入しました。1年間かけて完全ペーパーレス化を目指します。また、令和2年度に都市計画道路池田終線下長窪工区が4車線で供用開始予定です。地域活性化に向けての議論もたくさん出ることでしよう。期待しております。

発行責任者

議長 柏木 豊

● 広報広聴常任委員会

委員長 下山 哲夫

副委員長 下山 和則

委員 木下 章夫

委員 山田 勝

委員 米山 智

委員 福田 明

委員 長野 晋治

委員 加藤 祐喜